

朴 珠 抄

能村研三推薦

歩かねば影に越さるる雪の夜  
郷愁は真白なりけり百合鷗  
雪をんな鼻緒の坪に赤一つ  
原罪の色は炎の色冬 荆  
生きるすべ知つてゐるなり冬の蠅  
直線は折れ易きもの枯蓮  
漂ふも滑空もあり朴落葉  
蓮根掘る男に無駄のなかりけり  
鎌鼬影伸ぶ如く近づき来  
椋鳥の多数決にて日の暮るる  
滴る血したたらざる血憂国忌  
山茶花のみんな他所見をしてゐたる  
散紅葉全うせし葉もせざる葉も  
秋冷や影を作らぬ手術室  
朴落葉のしろがね第四楽章に

甲州 千草  
栗坪 和子  
平松うさぎ  
荒井千佐代  
福島 茂  
菊地 光子  
七田 文子  
能美 茅柴  
澤田 英紀  
山中 洋子  
村上 葉子  
松倉 聖子  
菅原 健一  
関 妙子  
藤代 康明